

第 93 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ :樹林環境の順応的管理—

1月の谷戸山公園研修は、樹林環境の順応的管理の研修を行いました。

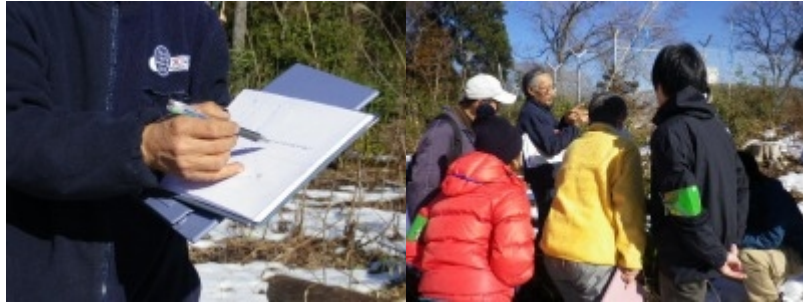


先週降った雪がまだまだ残る谷戸山公園の中、今年最初の研修が始まりました！
子どもに比べて雪を見てもあまりワクワクしない自分に少し寂しくなる今日この頃です。



講師から、本日の研修内容の説明です。

今回の研修は午前、午後ともに皆伐更新地区で萌芽株と実生の調査を行います。



萌芽株と実生の位置関係の把握や、成長過程などを今後追って調査できるよう、皆伐更新地区をいくつかのエリアに分け位置を落としていきます。今回対象となる樹種は、構成主要木となるコナラ、イヌシデ、ウワミズザクラ、エノキ、エゴノキです。



冬は葉がついていないので、冬芽から樹種を特定していきます。皆同じようにみえますが、左からイヌシデ、エノキ、ムクノキです。

それぞれの特徴は以下の通りです。

イヌシデ…枝に産毛のようなものが生えている

エノキ…冬芽がはっきりしない

ムクノキ…エノキに似ているが、冬芽の先がとがっている



左の写真は、ムラサキシキブの冬芽です。上記の芽とまた違った特徴的な形をしています。葉の形だけではなく、冬芽も樹種によってそれぞれ特徴があるので、見比べたり、オリジナルの標本を作るのも楽しそうですね。



説明の後は、3つのグループに分かれて調査開始です。
皆伐更新地区の端にあるフェンスを起点として、まずは調査エリアをつくっていきます。
起点から目印になる樹木などがある地点までの距離を測り、テープを張り区切っていきます。
目印となるものが少ないので、エリアをつくるのも一苦労です。



エリア分けが終わったら、一旦お昼です。
風がなく、陽射しがとても暖かいので外でお昼を食べても気持ちのよい天気です。



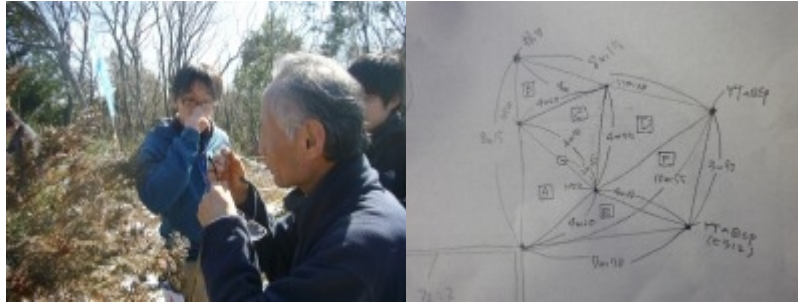
お昼の後は、環境関連のニュースや気になる出来事を話し合いました。



午後は引き続き、構成主要木となるコナラ、イヌシデ、ウワミズザクラ、エノキ、エゴノキの萌芽株と実生の位置をエリア毎調査し、記録していきます。



カラスザンショウの葉痕を発見し、思わずにっこり。



分らない樹種は講師に確認しつつ、今回分けたエリア毎位置を落としていきました。
図に表すと樹種の位置関係が分かりやすく、エリア毎の比較もしやすくなります。



今回の研修はこれで終了です。

研修では、ただ調査や作業をするのではなく、その場で見られる植物や動物などを調べて勉強できる貴重な機会でもあります。

また、季節や時間の変化などによってもその場で見られる生きものたちも変わってくるので、是非継続して参加して体感してもらえたらと思います。